

2024年5月10日

各位

上場会社名 ロイヤルホールディングス株式会社
代表者 代表取締役社長 阿部 正孝
(コード番号 8179)
問合せ先責任者 財務企画部 IR担当部長 鈴木 唯士
(TEL 03-5707-8873)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2024年2月14日に公表いたしました2024年12月期第2四半期連結累計期間、ならびに2024年12月期（通期）の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

(1) 2024年12月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想数値の修正（2024年1月1日～2024年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	71,400	2,450	2,000	1,450	29.47
今回予想 (B)	71,500	2,800	2,500	2,100	42.67
増減額 (B-A)	100	350	500	650	
増減率 (%)	0.1	14.3	25.0	44.8	
(ご参考) 前期実績 (2023年12月期第2四半期)	64,568	2,520	2,036	1,481	27.52

(2) 2024年12月期（通期）の連結業績予想数値の修正（2024年1月1日～2024年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	147,300	6,600	5,700	4,300	87.38
今回予想 (B)	148,000	7,000	6,400	4,800	97.53
増減額 (B-A)	700	400	700	500	
増減率 (%)	0.5	6.1	12.3	11.6	
(ご参考) 前期実績 (2023年12月期)	138,940	6,074	5,266	4,035	76.82

修正の理由

(1) 2024年12月期第2四半期連結累計期間（2024年1月1日～2024年6月30日）

2024年12月期第2四半期連結累計期間（2024年1月1日～2024年6月30日）の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類に移行したことを受けて、個人消費の持ち直しが進み、外食や宿泊の機会も増加基調になるものと見込んでおりました。

前回発表以降、2024年12月期第1四半期累計期間（2024年1月1日～2024年3月31日）におきましては、高付加価値商品の提供による販売価格の上昇に加えて、訪日外国人の増加も業績を下支えし、売上高は想定をやや上回る水準で推移いたしました。また、原材料価格や人的資本投資に伴う人件費の上昇が継続しているものの、各種経営施策による収益性の改善、機内食事業の回復に伴う持分法投資損益の良化、撤退店舗における特別損失の減少などが寄与し、各段階利益は想定を上回る水準となりました。足元の4月においても、引き続き、各事業セグメントの売上高は堅調な推移と

なっております。

上記の理由により、2024年12月期第2四半期累計期間（2024年1月1日～2024年6月30日）の連結業績予想につきましては、売上高は前回予想を上回り、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は増収に比して、増益が拡大する見通しとなりました。

（2）2024年12月期（通期）（2024年1月1日～2024年12月31日）

2024年12月期（通期）（2024年1月1日～2024年12月31日）の連結業績予想につきましては、賃金改善が進む一方で、物価高の継続が個人消費に及ぼす影響を慎重に判断するとともに、持続的成長にむけた設備投資や人的資本投資に伴う人件費の増加を勘案しておりますが、社会経済活動の正常化が進むなかで、各事業の売上高は引き続き、堅調に推移することを前提に、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想を上回る見通しとしております。

なお、直近の営業状況等につきましては、本日（2024年5月10日）公表いたしました「2024年12月期 第1四半期決算説明資料」をあわせてご参照下さい。

※ 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上